



交通開放後も抜本的な対策工事を継続している状況であり、  
今後も強い降雨等により  
通行止めになる可能性がありますので、  
引き続きご注意ください。

2024.9.7 発行 Vol.175

月刊

# 政治かわら版 牧島かれん国政報告

発信元: 牧島かれん事務所

\*地元事務所

\*会館事務所

TEL:0465-38-3388

TEL:03-3508-7026

FAX:0465-38-4400

FAX:03-3508-3826

地元でも台風の被害が大きく、対応にあたっています。二宮町では浸水被害  
が発生し、国道246号新善波トンネルの工事被害にて通行止めが発生しています。(9月7日)  
私も現場に向い、作業にあたる方々からも情報収集を行っています。(最新の交通  
情報等は横浜国道事務所のHPやXにて確認下さい。)

## ■災害時のデジタル技術の活用

国土交通省TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)では、多くの関係者が  
懸命に対応しています。しかし、土砂撤去作業は、安全性確保の観点から無人化  
施工も実施されています。ドローンの方が離れた場所からトンネルの奥の土砂を  
かき出可等、二次被害が起きないよう状況把握をしてながら作業を進めて  
下っています。重機の運転席のレバーを、安全な場所から遠隔で操作する  
様子には、まさに日本の技術力を感じます。災害対応の技術は、日本  
強化して海外の課題解決にも寄与できるはず。

## ■総裁選挙は…有事の今だからこそ、選択を! (9/12 告示-27投票日)

国際情勢を見ても、日本総理は個性的な各國リーダーと対応していく必要が  
あります。経済対策も柔軟に実現で進めなければなりません。一人ひとりが不安感、  
閉塞感に包まれている中、然しく「選了」をして政策を実行していくことで、  
有事の今こそ、河野太郎大臣を応援しています。衆議院議員 牧島かれん (2024.9.4)